

連載:

フィルム・アーカイブ  
の諸問題

## 第4回

FIAFでは、「FIAF映画百年国際カレンダー」を年2回発行し(現在、4号まで発行されている)、世界のフィルム・アーカイブがどんな映画百年記念事業を行なっているかの情報を、総合的に集め発表している。以下は、その一部をまとめたものである。こうした一覧から、世界のフィルム・アーカイブおよびFIAFが映画百年をどのようにとらえ、それぞれ個性的な「祝い方」をしているかがわかるだろう。(H.O.)

\* [国名] / アーカイブ名 / 《1993年～1995年度の記念事業》 / 内容の順で記載しています。全てを網羅しているわけではないこと、実際に実現されたかどうか疑わしいものも一部に含まれていることをあらかじめご了承ください。また、機関名の日本語名は公式訳はありません。

## [アイスランド]

アイスランド・フィルム・アーカイブ  
(Icelandic Film Archive)

・1993年3月—《珍しいアマチュア・フィルム》  
映画百年を記念して、第二次世界大戦末期頃から盛んになったアマチュア、セミ・プロのドキュメンタリー映画の貴重な作品を復元、上映。

## [アメリカ合衆国]

ニューヨーク近代美術館(MOMA)映画テレビ部  
(Department of Film and Video/The Museum of Modern Art)

・1993年3月3日—《復元版「波止場」のプレミア上映》  
1954年にエリア・カザンが監督した名作の復元版上映。初の本格的なスタジオ協賛復元として意味深い。

・1993年6月～1994年6月—《スペシャル・コレクション展示》

MOMA所蔵の映画に関するドキュメント、ポスターなどから珍しいものを選びすぐって展示。

・1994年9月～1995年4月—《監督百年祭：フォード／ルノワール／スタンバーグ》

世界のフィルム・アーカイブは  
映画百年をどう祝っているか?

A World Survey: How the world's film archives have been celebrating the *Centenary of Cinema*?

1894年生まれ3人の偉大な監督の復元作品などを上映、同時にポスター、スチル写真を展示。

・1995年5月～6月—《MOMA映画テレビ部創立60周年記念特集》

同部創立60周年を記念して、初代キュレーター、アイリス・バリーが企画した「メアリー・ピックフォード・プログラム」を再現すると共に過去60年のうちに作品を寄贈した映画製作者たちの作品を特別上映。

UCLAフィルム&テレビジョン・アーカイブ

(UCLA Film and Television Archive)

・1995年4月6日～5月4日—《第7回保存・復元映画祭》

1995年FIAFロサンゼルス総会を記念して、例年以上に大規模な7回目の保存・復元映画祭(Festival of Preservation)を開催。今回は「リュミエール・プロジェクト」による復元作品等も上映。

ジョージ・イーストマン・ハウス 写真・映画部  
(Department of Photography and Film/George Eastman House)

・1995年5月～12月—《イーストマン映画音楽プロジェクト》

プロおよびセミ・プロの映画音楽家(特に無声映画のための音楽家)養成のためのワークショップ開催。あらゆる種類の音楽が使われ、12月28日に特別イベントが催される予定。

## [アルゼンチン]

アルゼンチン・シネマテカ財団  
(Fundacion Cinemateca Argentina)

・1993年—《アルゼンチン映画の起源：1894年～1910年》

5年がかりのリサーチ・プロジェクトの結果を出版。

・1995年1月～7月—《百年祭》

65本のアルゼンチン映画の政府補助を受けた復元プロジェクト。このプロジェクトは、アルゼンチン映画を代表する映画人のフィルモグラフィ／バイオグラフィのCD-ROM化なども含む。

## [アルバニア]

アルバニア共和国アーカイブ  
(Les Archives d'Etat de la République Albanaise)

・1995年4月—《アルバニア映画祭》

1990年以来5年ぶりの映画祭開催。委員会によって選出された作品がすべて上映され、今回初めて外国からの招待者もあった。

## [イギリス]

ナショナル・フィルム&テレビジョン・アーカイブ

(NFTVA)

(National Film and Television Archive)

・1993年4月1日—《アーネスト・リンドグレン記念講演会：映画についての映画》

ケヴィン・ブラウンロウとデイヴィッド・ギルが、「鉄路の白薔薇」(1923年)「金」(1927年)「ナポレオン」(1927年)といった傑作映画の復元について講演。その時平行して作られた記録映画も上映。

・1994年4月—《アーネスト・リンドグレン記念講演会：歴史を見る目》

映画史家でプロデューサーでもあるジェローム・ケール(Jerome Kuehl)が、ビジュアル・ヒストリアンの役割、映像の歴史的な信憑性、人間の視覚の蓋然性について講演した。

・1994年4月～1995年4月—《歩む影：シェークスピアと映画》

1899年から現在までナショナル・フィルム・シアターで上映されたシェークスピア映画やテレビ番組の連続回顧上映。

・1994年10月—《「第三の男」(1949年、キャロル・リード監督)新復元版上映》

・1995年4月6日—《アーネスト・リンドグレン記念講演会：電話をめぐるスリラーと映画編集》  
MOMA映画テレビ部元キュレーター、アイリーン・パウザーが1901年～1913年の間のフィルムを例にとって上記の演題で講演。

インペリアル・ウォー・ミュージアム

(Imperial War Museum)

・1993年5月～1995年12月—《戦争を撮る》  
この展示は、1920年に創立された同ミュージアムの歴史的な戦争映像コレクションに関係するさまざまなカメラや数々の記念品などを紹介。

## [イタリア]

チネテカ・デル・フリウリ

(Cineteca del Friuli)

・1995年10月16日～20日—《ポルデノーネ無声映画祭》

今年のプログラムは、「フィクション／ノンフィクション」、「中国映画1895年～1936年」、「マックスとデーヴ・フライシャーの無声映画」、「イスラエル建国以前のイスラエル」、「エディソン映画1890年～1900年」など。

チネテカ・デル・コムネ・ディ・ボローニャ

(Cineteca del Comune di Bologna)

・1995年6月25日～7月1日—《復元映画祭》

世界中から集めた重要な復元作品の映画祭(II Cinema Ritrovato)。例えば、リュミエール兄弟以前の映画、ステンシル・カラーからキネマカラーまでの作品、ヨリス・イヴェンス以前の紀行ドキュメンタリー映画など。

## イタリア映画実験センター／チネテカ・ナツィオナーレ

(Centro Sperimentale di Cinematografia, Cineteca Nazionale, Rome)

- ・1994年11月～1995年6月－《24本の映画に見る映画百年》
  - ・1995年3月－《「郵便配達は二度ベルを鳴らす」の復元》
- ルキノ・ヴィスコンティの回顧イベントの一環として、1942年の同作を復元して上映。

- ・1995年通年

《「イタリア無声映画」の出版》

イタリア無声映画の年代順フィルモグラフィの出版。ヴィットリオ・マルティネッリとアルド・ベルナルディーニの編纂により21巻から成る。

## [イスラエル]

### イスラエル・フィルム・アーカイヴ

(Israel Film Archive/Jerusalem Cinematheque)

- ・1993年4月26日－《ヘブライ映画の75年》
- 映画史家ヤコブ・グロスの紹介付きでイスラエルの映画製作75周年を祝った企画。上映作品には1917年～22年の記録映画が含まれている。
- ・1994年1月3日－《平和への道：75年間の外交政策》
- 映画史家ヤコブ・グロスの紹介付きで歴史的なドキュメンタリー映画を上映。

### スティーヴン・スピルバーグ・ジュイッシュ・フィルム・アーカイヴ

(Steven Spielberg Jewish Film Archive)

- ・1993年11月30日～12月7日－《イスラエル映画：最初の5年間(1948年～1953年)》
- イスラエル映画の最初の5年間を回顧する。ドキュメンタリー映画の上映と当時の監督、プロデューサー、脚本家、カメラマンに会場でインタビュー。
- ・1995年通年－《キブツ：その映画の歴史と伝統》
- キブツ文化に関するフィルムの収集と保存のプロジェクト。

## [インド]

### インド国立アーカイヴ

(National Film Archive of India)

- ・1994年10月8日～15日－《アジアの光：インド無声映画1913年～1933年》
- ポルデノーネ映画祭でのインド無声映画の上映。インド映画の父と呼ばれるD.G.ファルケの現存するすべての作品などを上映。順次インド国内を巡回予定。
- ・1994年1月10日～20日－《無声映画の傑作選》
- 第26回インド国際映画祭の一環としてボンベイで開催された無声映画祭。インド映画誕生以前のパイオニア、パトワダン兄弟のマジック・ランタン・ショーを再現、映画保存のシンポジウムも開催。

## [ヴァチカン]

### フィルモテカ・ヴァチカーナ

(Filmoteca Vaticana)

- ・1992年12月18日、1月27日、3月5日－《「天使の羊使い」の上映》

「天使の羊使い」の公開50年を祝って、現存する唯一のコピーをフィルモテカ・ヴァチカーナが特別に復元したものを上映。3回の上映はいずれも好評に終わった。

- ・1995年1月～4月－《教育映画に関する出版プログラムとフィルム復元》
- アーカイヴ所蔵の珍しいフィルムを復元し、同時に、学生向けに映画言語教育をするための出版物を刊行する。

## [ヴェネズエラ]

### ヴェネズエラ国立シネマテカ財団

(Fundación Cinemateca Nacional, Caracas)

- ・1993年4月27日～28日－《「カルメン」上映》
- 1915年、セシル・B・デミルが監督した同作の復元版を上映。

## [エクアドル]

### エクアドル国立シネマテカ

(Cinemateca Nacional del Ecuador)

- ・1995年3月～7月－《カルロス・クレスピ回顧展：エクアドル映画のパイオニア》
- イタリア人宣教師カルロス・クレスピが撮ったアマゾン河流域のエクアドル系住民の生活様式を紹介。

## [オーストリア]

### オーストリア国立フィルム・アーカイヴ

(Österreichisches Filmarchiv)

- ・1993年5月4日－《無声映画の夜：「ヨハン大公」》
- 1929年に製作された同作品の復元版上映。
- ・1994年1月24日～27日－《無声映画の夜：オーストリア＝ハンガリー帝国皇帝と映画》
- 最後のオーストリア＝ハンガリー帝国皇帝とハプスブルク家について作られた記録映画の復元版上映。
- ・1994年12月8日～12日－《ヴィリ・フォルスト回顧展》
- オーストリア人監督ヴィリ・フォルストの全作品上映。
- ・1995年6月1日～10月29日－《第1回「巡回映画館」展覧会》
- かつてサーカス・テントで興行していた「巡回映画館」に関する展示会で、当時のレプリカも展示。映画誕生前のさまざまな映像装置の出品もあり、生伴奏付きの無声映画祭も開催される。

## [オーストラリア]

### ナショナル・フィルム&サウンド・アーカイヴ

(National Film and Sound Archive)

- ・1994年7月－《ケン・G・ホール：オーストラリア映画のパイオニア》
- オーストラリア映画のパイオニアであるケン・G・ホールの作品を集め、シドニー映画祭で連続上映。また彼についてのドキュメンタリーも上映。

## [カナダ]

### シネマテーク・ケベックワーズ

(Cinémaèque Québécoise)

- ・1994年11月3日～12月20日－《ゴーマン映画の100年 フランス映画の100年》
- ゴーマン社の百年にわたる歴史を多数の同社作品で回顧。ルイ・フィヤードの「ジュデックス」、全12話を2人のピアニストによる伴奏付きで一挙上映。
- ・1995年1月6日～12月22日－《無声映画と音楽》
- 1995年を通じて、毎金曜の夜にFIAFメンバーが復元したサイレント映画を音楽付きで上映。

## [ギリシャ]

### ギリシャ・フィルム・アーカイヴ

(Greek Film Archive)

- ・1992年10月4日－《ギリシャ映画のルーツを求めて》
- アーカイヴで復元された1930年の作品「ダフニスとクロエ」をミュージック・パレスで上映。製作者オレスティス・ラスコスが出席し、2,500人の観客が拍手で迎えた。なおラスコスはこの上映の数日後に亡くなった。
- ・1993年7月26日～12月－《ギリシャ映画のルーツを求めて：偉大なるパイオニア》
- 7月26日、アーカイヴによって復元されたアッキレ・マドラス監督の「マリア・ペンダヨシタ」(1930年)を上映。11月22日～27日には、アテネの日常生活を写したフィルムを上映する「アテネ：失われた都市を求めて」という特集が行なわれた。
- ・1994年9月－《シネミソロジー》
- ギリシャ映画の過去から現在に至る大回顧上映。
- ・1994年10月－《復元されたギリシャ映画》
- 米国のギリシャ協会において復元された10本の映画を上映。

## [クロアチア]

### クロアチア・シネマテーク

(Hrvatska Kinoteka/The Croatia Cinematheque)

- ・1993年10月25日～28日－《クロアチア映画遺産週間》
- アドリア海のダルマチア地方の有名な古都スプリト、クロアチア人彫刻家イーヴァン・メシュトラヴィッチ、またその他の著名な画家などに関する歴史的なフィルムをシリーズ上映。
- ・1994年2月－《短篇映画祭》
- 1942年～1978年の間に製作されたさまざまなアートについての短篇映画、1941年～1945年の間に製作されたニュース映画とドキュメンタリー、また1971年～1988年間に製作された宗教映画、という3つのカテゴリーに分けて短篇映画を特別上映。
- ・1994年7月13日～17日－《第11回世界アニメーション・フェスティバル》
- ・1995年2月3日～9日－《第4回クロアチア短篇映画祭》

## [スウェーデン]

### スウェーデン映画協会シネマテーク

(Cinemateket/Svenska Filminstitutet)

- ・1993年11月19日－《Johan Ulfstjerna 上映》
- 国内で失われ、フランスで発見された1923年の同作品(ヨーン・W・ブリュニウス監督)の復元版上

映。復元を担当したインガ・アドルフソンが作品を紹介し、生伴奏付きで上映した。

- ・1995年2月―《映画百年》回顧上映
- ・1995年9月23日―スウェーデン中の映画館が映画百年を祝って、それぞれの上映作品の前に「覚えてますか?」(Minns Ni?)というスウェーデン映画史についての短篇を上映した。

## [スペイン]

フィルムoteca・ヴァレンシアーナ  
(Filmoteca de la Generalitat Valenciana)

- ・1993年4月16日―《「トカゲの土地」上映》  
断片が発見されたフランク・ボゼーギの「トカゲの土地」Land o' Lizards(1916年)をフィルムoteca・エスパニョーラと共同で復元、パリでプレミア上映を行なった。

## [スロヴェニア]

スロヴェニア・フィルム・アーカイヴ  
(Slovene Film Archives)

- ・1995年1月―《「平和の谷」上映》  
「平和の谷」Dolina Miru(1956年、フランス・スティグリッチ監督)の復元版上映とスチル写真展示(パリでも上映)。
- ・1995年3月―《「モンテ・クリスト伯」他の上映会》  
ブラハのチェコ人民フィルム・アーカイヴの協力で、「モンテ・クリスト伯」(1928年、アンリ・デクール監督)、「エロティコン」(1929年、グスタフ・マハティ監督)、チェコの短篇映画等を上映。

## [大韓民国]

韓国フィルム・アーカイヴ  
(Korean Film Archive)

- ・1994年12月20日―《1995年映画カレンダー》  
百年祭を記念して簡単な映画史、FIAPF紹介、国際映画賞を受賞した韓国映画紹介等の情報を含むカレンダーを作成。
- ・1995年3月16日～20日―《国際映画賞を受賞した韓国映画15本の上映》

## [チェコ]

チェコ国立フィルム・アーカイヴ  
(Narodni Film Archive)

- ・1994年1月28日～31日―《オリンピック委員会の百年》  
国際オリンピック委員会(IOC)の創立百周年を祝って、1908年～1988年のオリンピック映画を上映。
- ・1994年2月―《イジー・レホヴェッツの85年》  
写真家、映画批評家、カメラマン、前衛ドキュメンタリー映画の作者であり、チェコ映画界の長老であるイジー・レホヴェッツの写真や映画の回顧展。
- ・1995年3月5日―《「エロティコン」上映会》  
最も重要なチェコ映画の一つ「エロティコン」(1929年、グスタフ・マハティ監督)のアーカイヴ復元版を交響楽団の生伴奏付きで上映。

## [中国]

中国電影資料館  
(China Film Archive)

- ・1994年8月―《「中国映画史」のテレビ映画製作》

## [朝鮮民主主義人民共和国]

朝鮮民主主義人民共和国国立フィルム・アーカイヴ  
(National Film Archive of D.P.R. of Korea)

- ・1994年10月18日―《シンポジウム：映画百年》  
解放後初めて製作された映画「わが祖国」(1947年)の上映とディスカッション。
- ・1994年4月21日～23日―《シンポジウム：20世紀の記憶―映画遺産の保存》  
映画研究者、技術者、学生など50名以上が参加した映画保存に関するシンポジウム。
- ・1995年6月5日―《記念上映：映画百年を祝って》  
アーカイヴ所有の初期の映画を選択して上映、合わせて映画史に関する講義も行なうもの。

## [ドイツ]

ドイツ・キネマテーク財団  
(Stiftung Deutsche Kinemathek)

- ・1995年2月9日―《1895年のスクラダノフスキー・プログラムの復元版上映》  
ドイツ映画のパイオニア、マックス・スクラダノフスキーによる1895年11月1日当時の「生きる写真」の復元されたプログラムを上映。もともとコマ単位でしか残っていなかった部分はコンピュータ技術などで再び「動く映像」に復元した。
- ・1995年2月9日～20日―《「アスファルト」復元版上映》  
ロシア・ゴスフィルムフォンドで発見された素材から復元したヨーエ・マイ監督による古典映画「アスファルト」(1929年)をベルリン映画祭で上映。
- ・1995年4月7日～7月2日―《キノニムービーニシネマ展》  
映画百年祭に向けたメイン・イベントであるこの展覧会は、映画史をたどったものではなく、映画とほかの芸術との関係、また映画と現代史、映画とポップ・アートとの関連などを考えた内容となっている。マレーネ・ディートリッヒ・コレクションの最初の一般公開が目玉となる。

ドイツ連邦アーカイヴ／フィルム・アルヒーフ  
(Bundesarchiv/Filmarchiv)

- ・1994年12月3日～1995年2月2日―《ドイツ映画のパイオニア：オスカー・メスター》  
ドイツ連邦アーカイヴ本部、ミュンヘンのドイツ博物館、フランクフルトのドイツ映画文化協会、ポツダムの映画博物館等が共同で開催した展覧会。ドイツ映画の先駆者オスカー・メスターの発明した映写機や装置を展示、また彼が1895年～1920年に製作した作品も上映。

## [日本]

東京国立近代美術館フィルムセンター

- ・1993年4月10日～7月25日―《知られざる

アメリカ映画》

MOMAとジョージ・イーストマン・ハウスの協力を得た特別上映。ハリウッドの日本人スター、早川雪洲と青木鶴子の貴重なフィルムを含む。

- ・1994年12月22日～27日―《サイレント・ルネサンス》  
坂本龍一をはじめ日本の現代作曲家の俊英を集め世界の古典無声映画に生演奏を付して上映。
- ・1995年5月12日―《新フィルムセンター開館》
- ・1995年10月17日～1996年2月3日―《5つの映画生誕百周年記念イベント(2頁、Editorial参照)》

## [ニュージーランド]

ニュージーランド・フィルム・アーカイヴ  
(Newzealand Film Archive)

- ・1995年1月―《テッド・クープレイ：ニュージーランド映画のパイオニア》  
ニュージーランド映画の第一世代で未だ健在な最後のパイオニア、テッド・クープレイの足取りをたどる特別プログラム。

## [ハンガリー]

ハンガリー映画協会  
(Hungarian Film Institute)

- ・1993年7月1日～1994年6月30日―《ハンガリー映画と外国映画》  
新たに復元もしくは購入されたハンガリーおよび外国映画の上映。他に、リュミエール・プロジェクトから助成を受けた「黄金の男」(1918年、アレキサンダー・コルダ監督)の復元をNFTVAと共同で実施。
- ・1995年1月1日～12月12日―《ハンガリー映画協会のアート・シネマ》  
アーカイヴ・コレクションの中から古典作品や珍しい作品を選びすぎて日替り上映する。

## [バングラデシュ]

バングラデシュ・フィルム・アーカイヴ  
(Bangladesh Film Archive)

- ・1993年4月14日～15日―《特別上映「スィラー・ジウッダラー」と「ムコム・コーシュ」》  
前者は、ベンガルの独立のために戦って敗れ、陰謀によって殺された最後のベンガル太守スィラー・ジウッダラーの人生を描いた作品。また「ムコム・コーシュ」はバングラデシュ初めてのベンガル語長篇劇映画(探偵もの)。
- ・1993年11月20日～22日―《韓国映画祭》

## [プエルトリコ]

プエルトリコ映像アーカイヴ

(Archivo de Imagenes en Movimiento, Archivo General de Puerto Rico)

- ・1995年3月～7月―《プエルトリコ映画の再発見》  
1962年～1963年に製作されながらも最初の公開以来、上映されることの無かった8本の長篇作品をテレビで放映。
- ・1995年2月～3月―《帰ってきた映像》  
スペインのフィルムoteca・ヴァレンシアーナと共同

で開催された巡回映画展。

- ・1995年8月—《「ウン・ディア・クアルキエーラ」のプレミア上映》

1950年代のプエルトリコでは、地方から都市部へ多くの人々が急激に移動し、それが社会問題化した。唯一この問題を題材にした1955年作品の復元版をプレミア上映した。

## [ブラジル]

リオデジャネイロ近代美術館シネマテカ  
(Cinematheca do Museu de Arte Moderna)

- ・1994年8月—《1940年～50年代の復元されたニュース映画特集》

## [フランス]

フランス国立映画センター(CNC)／アルシーヴ・デュ・フィルム  
(Archives du Film du Centre National de la Cinématographie)

- ・1994年8月～1995年2月—《映画と植民地》このプロジェクトは、アフリカ諸国における1895年から独立までの映画を復元・カタログングするというもの。同時にフランス国内のアーカイヴやアフリカでも大がかりな回顧上映会が開かれる。
- ・1994年10月26日～1995年3月6日—《パテ——シネマの最初の帝国》

1896年にシャルルとエミール・パテが創立したパテ社の300作品以上を上映し、関係展示や出版も行なうというジョルジュ・ボンピドゥー・センターの大回顧展に全面的に協力する。

- ・1994年12月19日—《映画音楽》「金」(1929年、マルセル・レルビエ監督)の復元版をジャン・フランソワ・ジジェルの音楽を付けて交響楽団演奏付きで上映。

シネマテーク・フランセーズ  
(Cinémathèque Française)

- ・1995年1月～5月—《ゴーモン映画の100年 フランス映画の100年》120本のゴーモン作品上映と関連展示。
- ・1995年3月～6月—《シャルロ》チャップリンについての大規模な回顧上映と出版。
- ・1995年3月～6月—《芸術と映画》モネ・ホテルでのシネマテーク秘蔵品展示。
- ・1995年5月9日—《ハリウッド・メジャー：20世紀フォックス》同社の作品を200本以上上映、併せてカタログも出版。

シネマテーク・ドゥ・トゥールーズ  
(Cinémathèque de Toulouse)

- ・1994年12月～1995年1月—《第4回シネメモワール映画祭》
- ・1995年2月—《ドイツ表現主義の傑作》
- ・1995年3月—《ラテン・アメリカ映画の百年》
- ・1995年6月—《「オペラの怪人」(1925年)復元版上映》

## [ベルギー]

ベルギー王立シネマテーク  
(Cinémathèque Royale de Belgique)

- ・1995年通年—《ベルギー映画全フィルモグ

ラフィー作成(サウンド短篇は除く)》

- ・1995年通年—《百年祭に向けた映画100本の連続上映》「ジャンル再考」、「ジャック・ルドゥーに捧げる」、「キートンとフォードの百年」、「映画以前のフィルム」、「アーカイヴの復元作品」、「映画百年記念 FIAFベスト映画ゲーム」の6つのテーマに従って、それぞれ100本ずつを連続上映する。

## [ブルキナファソ]

シネマテーク・アフリケーヌ  
(Cinémathèque Africaine)

- ・1995年2月25日～3月4日—《汎アフリカ映画テレビ・フェスティバル・イン・ワガドゥグ》アフリカ中の映画・テレビ作品が競い合う2年ごとのアフリカ映画祭。

## [ポルトガル]

シネマテカ・ポルトゥゲゼア  
(Cinematheca Portuguesa)

- ・1995年3月19日～5月31日—《映画の古典／非古典》FIAFのプログラミング&アクセス委員会によって提案された「映画百年記念 FIAFベスト映画ゲーム」に基づいて、120本のフィルムを上映。半分は各アーカイヴによって選出された「古典」作品、残りの半分は、あまり知られていないか、またはめったにポルトガルで上映されることがない作品から成る。
- ・1995年6月—《新映画保存センター開館》リスボン近郊に新しい国立映像アーカイヴ Archive Nationale des Images en Mouvement、略称 ANIM が開館する。可燃性、不燃性フィルムの各保存庫、復元ラボに加え、ビデオ、写真、ポスター部門も併設。

## [マケドニア]

マケドニア・シネマテーク  
(Kinoteka na Makedonija)

- ・1995年10月14日～18日—《マナキ兄弟》マケドニアはもとより、バルカン半島で最初の映画を作ったマナキ兄弟(JamakiとMilton Manaki)の全作品を上映。
- ・1995年12月1日～2日—《シンポジウム：難民と映画》東ヨーロッパから14ヶ国以上30名の参加者が集って「映画における難民」というテーマでシンポジウムを開催。映画初期時代から最近のボスニアやグルジアの情勢に至るまで、さまざまな難民問題が、関係する映画・ビデオをまじえて討議された。
- ・1995年通年(予定)—《百年祭の百本》シネマテークのコレクションから専門家を選んだ最も重要な映画100本を上映する。プログラムは、マケドニアと世界の映画史に関するマルチメディア・プロジェクト「シネマ・キャバレー」で幕開け。

## [メキシコ]

UNAM フィルモテカ  
(Filmoteca de la UNAM)

- ・1994年7月～1995年12月—《フェルナンド・デ・フエンテス生誕百年記念》

メキシコ映画の最も重要な映画製作者の生誕百年を記念して、彼の全作品34本を回顧上映。

- ・1994年10月24日～25日—《アメリカ映画におけるメキシコのイメージ／メキシコ映画におけるアメリカのイメージ》アメリカ・メキシコ両国から専門家を集めての上映および討論会。
- ・1994年10月26日～11月20日—《フリッツ・ラング回顧展》

ヨーロッパとアメリカのいくつかのアーカイヴの協力を得てフリッツ・ラングの全作品上映。皮切りはミュンヘン映画博物館で復元された「メトロポリス」(1927年)を2台のピアノ伴奏を付けて上映。

シネテカ・ナシオナル  
(Cineteca Nacional)

- ・1994年1月～3月—《復元プロジェクト》タバスコ州で見つかったフィルム・コレクションを復元するプロジェクト。このコレクションには、1920年～1930年にメキシコで起きたさまざまな出来事の貴重なイメージも含まれている。

## [旧ユーゴスラヴィア]

ユーゴスラヴェンスカ・キノテカ  
(Jugoslovenska Kinoteka)

- ・1993年12月28日—《映画百年に向けて》1896年5月にベオグラードで上映されたりュミエール作品の特別上映並びにセルビア最初のカメラマン、スラフコ・ヤヴァノヴィッチによる「1913年、セルビア勝利者の帰還」の上映。
- ・1994年9月21日—《「セルビアのペタル一世の戴冠式」上映》英国の弁護士でセルビア名誉領事でもあったアーノルド・ミュア・ウィルソンにより製作され、「シェフィールド写真会社」のフランク・ストーム・モタショウによって撮影されたペタル一世の戴冠式(1904年9月21日)のフィルムを新しく復元して戴冠記念日に上映。
- ・1994年12月27日—《「メトロポリス」上映》ベオグラード最大の映画館サヴァ・センターを使って、「メトロポリス」(1927年)をオリジナル・スコアの演奏付きで上映。

## [ロシア]

ロシア・ゴスフィルモフォンド  
(Gosfilmfond of Russia)

- ・1993年12月25日～1996年12月31日—《シネマ・マラソン》映画百年を記念して多数の映画をテレビで連続上映する。
- ・1995年2月—《ソヴィエト映画解説カタログ(1966年～1967年)の出版》この出版はシリーズ化の予定。■

(訳・構成 齊藤綾子／客員研究員)